

SMILE

☆ 今月も笑顔(スマイル)でスタート!～

10月号 Vol. 57

今月の SMILE

上下同欲者勝

まいど おおきに!

今月は国慶節のお休みがあり、弊誌スマイルも本日8日の発信となっています。

皆様は、国慶節のお休みをユックリと過ごすことができましたか?

今年の国慶節は新中国成立70周年ということで、街並みでは9月の中旬からその準備に熱心に取り組んでいました。特に役所関係では、70周年記念行事の練習(?)のために、忙しそうでした。

中国はGDP世界第2位そして今やアメリカとの間で貿易戦争を繰り広げるなど、世界が中国を大国と認める存在になっていることは誰もが否定できないでしょう。

これからの日本は、この大国となった隣国中国とそして従来より同盟国であるアメリカとの間で、たえずバランスを考えた舵取りが求められるものと思います。

そこで中国の外交のあり方を知る上で、中国の習近平国家主席は、スピーチの中でよく引用される孫氏の兵法の謀攻編が参考になると思います。

(中文)“故知勝有五:知可以战与不可以战者胜;识众寡之用者胜;上下同欲者胜;以真待不真者胜;将能而君不御者胜。”

(訳文)勝利を知るためには5つの方法がある。第1は戦うべき時と戦うべきでない時をわきまえていること。第2は大軍と小勢のそれぞれの用い方を知っていること。第3は上下の人々が同じ心をもっていること。第4は万全の態勢を整えて油断している敵に当たること。第5は将軍が有能でしかも主君が干渉しないこと。これら5つを守れば勝負に勝つことができる。この中でもとくに第3の“上下同欲者勝”がよく用いられているようです。

そういえば、今、日本で盛り上げているワールドカップラグビーも、勝利のインタビューでは、“上下同欲”であったことが勝因として語られていますね。

適用として、皆さんの会社はいかがですか?社員が同じ思いで仕事されていますか?

あ、日本でこんなことを部下に求めたらハラスメントになってしまいますね!

それでは今月も笑顔(スマイル)でスタートしましょう!



中国、対米貿易 13.9%減 1~8 月、摩擦続き

税関総署は9月8日、中国の1~8月の対米貿易総額が、前年同期比13.9%減の3,556億810万ドル(約38兆150億円)だったと発表した。米中貿易摩擦の影響による貿易の縮小が続いており、中国だけでなく世界経済への影響も懸念される。

輸入は27.5%減と大きく落ち込んだ。中国が報復関税を課した大豆などが減ったとみられる。輸出も8.9%減と振るわなかった。対米貿易黒字は1,954億5,020万ドルで1.5%増加した。

中国の世界に対する輸出は、単月で見ると前年同月比1.0%減で、2カ月ぶりのマイナスとなった。

中国PPI、8月は前年比-0.8% 3年ぶりの大幅マイナス

国家統計局が発表した8月の生産者物価指数(PPI)は前年比0.8%低下で、2016年8月以来の大幅なマイナスだった。7月は0.3%低下だった。

政府による早急な景気刺激策の必要性が浮き彫りとなった。低下の主因は原材料価格の下落。ロイターがまとめたアナリスト予想は0.9%低下だった。

キャピタル・エコノミクスのリサーチノートは「需要サイドの価格圧力はますます後退しており、追加の金融緩和が予想される」と指摘。生産者物価のデフレは今後数カ月に悪化するとの見方を示した。

中国人民銀行(中央銀行)は6日、18年初め以来7回目となる預金準備率の引き下げを発表。アナリストの間では、企業の借り入れコスト削減のため来週一部の主要貸出金利が引き下げられるとの見方が広がっている。

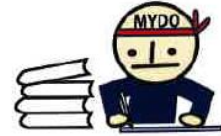
8月の食品価格は前年比10%上昇。7月の9.1%から伸びが加速し、12年1月以来の高水準だった。豚コレラの影響で豚肉価格は46.7%の急騰で、上昇率が7月の27%からさらに加速した。

消費者物価指数(CPI)は前年比2.8%上昇。上昇率は7月から横ばいで、アナリスト予想(2.6%)を上回った。前月比では0.7%上昇。食品や燃料を除くコアCPIは前年比1.5%上昇。7月は1.3%上昇だった。アナリストは食品価格の高騰が緩和政策の障害になるとはみていない。

オーストラリア・アンド・ニュージーランド(ANZ)銀行は「CPIは上昇しているが、人民銀は今年第4・四半期に金利を引き下げだろう」と予想し、「中国の金融政策決定においてはPPIの低下のほうが重みを持つだろう」との見方を示した。

ゴールドマン・サックスはCPIが高水準にあることについて、「コアインフレは依然として緩やかなため、人民銀の金利引き上げにはつながらない」とした上で、大幅な金利引き下げをある程度抑制する可能性があるとの見方を示した。





税務手続き簡便化のための新しい措置の実施について

納税者により良いサービスを提供するために、国家税務総局は2019年7月23日、8月13日付けて、税務手続き簡便化に関する新しい措置の実施の公告(税総函「2019」223号及び税総函「2019」243号)を発表しました。具体的なサービスの実施日についてはまだ明確されていないですが、これらの新措置の実施により、納税者に対する煩雑であった各種手続きの簡便化が期待されます

主な内容は下記の通りです

- 1、 税収優遇のリスト管理を推進する。税務総局は不定期的に税収優遇事項のリストを公布する。特別な場合を除き、納税者が自己の判断により優遇政策の享受及び申告を行い、後の検査に備えるのために自らで関連資料を保管する。
- 2、 輸出還付のペーパーレス申告の範囲を拡大する。
- 3、 増値税発票の検査プラットフォーム機能を最適化する。納税者は5年以内での増値税専用発票、増値税普通発票、自動車販売統一発票及び中古自動車販売統一発票の情報を検索することができる。
- 4、 発票発行システムのオンラインによるロック解除できる機能を追加する。システムがロックされた際、解除申請がオンラインで提出することが可能となる。
- 5、 城鎮土地使用税と不動産税の合併申告を推進する。税務総局が城鎮土地使用税と不動産税の納税申告表を合併し、また、各省の税務機関が城鎮土地使用税と不動産税の納税期限を統一し、納税者の申告回数を減少させる。
- 6、 小規模納税者による増値税専用発票の自己発行を全面的に推進する。税務総局が小規模納税者による増値税専用発票の自己発行の範囲を更に拡大し、小規模納税者(その他の個人を除く)に増値税の課税行為が発生して増値税専用発票の発行が必要する場合、自らに増値税発票管理システムを使用して発行することができる。
- 7、 全国統一な電子発票の公共サービスプラットフォームを推進する。
- 8、 「赤字増値税専用発票発行情報表」のオンライン撤回業務を実現する。
- 9、 区域を跨っての税務関連事項のオンライン処理を推進する。
- 10、 一般の税金還付(控除)業務のオンライン処理を推進する。

税務手続きを簡便化しましょう!!

老後 2,000 万円不足問題

世間を騒がせている「老後 2,000 万円不足」問題を取り上げてみます。

まずモデルの根拠を見てみると、高齢者夫婦無職世帯(高齢者というのは男性 65 歳以上、女性 60 歳以上)の平均的月額
の支出が 26.4 万円であるのに対し、収入の平均値は公的年金の受給額の平均値である 19 万円を含めて約 20.9 万円と
なる。

この差額約 5 万円の月額赤字を 30 年間続けるには約 2,000 万円不足する、というものです。

このモデルの問題点は皆様もお気づきだと思いますが、いくつか考えられます。

- 年金の収入は千差万別であり、**「平均値」には意味がないし、実態を捉えるべきであるならば「中央値」を活用すべきであった。**(また年金の種類自体も厚生年金、国民年金、企業年金等複数存在する)
- 総務省の調査によれば、**高齢者夫婦無職世帯の平均貯蓄残高は 2,292 万円あり(中央値は 1,437 万円)、「老後に 2,000 万円赤字が出るが、貯蓄はそれ以上にある」とレポートすべきだったはず。**

金融庁の意図は何か？

一般に言われているのは「強烈な不安や危機感を惹起し、資産運用を進めることで株式市場へのお金の流れを増やそう
としている」ということです。真偽のほどはわかりませんが、十分に考えられることです。

一方で個人・企業人を取り巻く環境を見てみましょう。

年金以外の老後の生活の最後の砦になる「退職金」に大きな変化が見られます。手元の資料によれば、大卒、大学院卒
の平均勤続 35 年以上を対象とする退職金の平均支給額が、1998 年の 3200 万円が、2018 年には 1997 万円と大きく減
少しています。

これは勤続 35 年以上ということですから、おそらく大企業の退職金が大半を占めていると思われるので、すべての人が
受け取る平均的な退職金ということになれば、もっと少ない数値が出るはずでしょう。いずれにせよ、退職金はあまねくセ
ーフティネットになるということは考えられず、いわば老後資金は国も企業も十分な手当ができない可能性が増大し、「自
己責任化」の方向に向かっているわけです。

では、どうすればよいのか？

絶対的な回答は、難しいですが一番重要なのは、まず健康でしょう。65 歳といわれている現在のリタイア年齢は、人生
100 年時代を前提にすれば、70 歳にすることが可能だと思われます。もっとわかりやすく言えば 70 歳までは健康で働く。
これが不安を払しょくする必要条件だと思います。

65 歳で定年退職して、一時金で退職金をもらうよりも健康で 70 歳まで働く方が、社会とのつながりも長く持てるし、その
方がいい、と考える人が増えてくると思います。

(もちろん 70 歳まで働いてさらに退職金ももらえるに越したことはありません。むしろ企業経営者はそのつもりで、つまり
70 歳まで雇用してさらに退職金を払える会社づくりをすべきだとも言えます)



参考:週刊東洋経済 7/13 号、週刊ダイヤモンド 7/23 号



ナニワのおっちゃん経営道！

《新コーナー》 社会人・企業人としての「ものの見方・みえ方」について語る！

第53回：“やる仕事！”と“やらされる仕事！！”・・・どっちがやる気ができるかなあ～～？？
ちょっとくらい辛い仕事でも、自分で企画し、自分でやりきれば、きつときつと面白い！！

給料をもらっている以上、仕事は、“やらされる！”というのが基本形。

しかし、“やらされる！”・・・という気分は、義務感が強く、“仕方なく”と言う感覚が、ただよいますよね。だから、“仕事は、面白くない！”・・・となるのではないのでしょうか？

そこで、ナニワのおっちゃんからの提案です！

“やらされる！”・・・という「受け身の姿勢」で、仕事をすることから脱却することをお勧めします。

たとえ、上から指示されて、“やらされる仕事”であっても、その仕事の「手段・方法の選択」や「中味の味の出し方」や「内容のレベルUP」などなど、与えられた範囲内で、自分で「主体的に企画」できる部分が存在するはずですよ。それが、たとえ一部分であっても、一時であっても、自分でデザインし、自分で描き、色を塗り、完成させる！・・・そんな“小さな達成感”を、こっそり楽しんでほしいのです。

「自主的・挑戦的気分・遊び心」って、大人になっても、なかなかいいものですよ！

お問い合わせは
MYDO まで!!



(お問い合わせ先)

上海滿意多企業管理諮詢有限公司

〒200336 上海市長寧区 延安西路 2201 号

上海国際貿易中心 2415 室

T E L: +86-21-6407-0228 F A X :+86-21-6407-0185